記者発表資料

令和４年７月２９日
東北地方整備局
鶴　岡　市

鶴岡第２地方合同庁舎が完成

～城下町・鶴岡の「人」と「歴史」と「文化」をつなぐ合同庁舎～

山形県鶴岡市の鶴岡文化学術交流シビックコア地区の中心施設として整備を進めていた鶴岡第２地方合同庁舎が完成しました。
鶴岡市内に分散している国の官署が集約することにより、利用者の利便性向上のほか、中心市街地の賑わいの創出や市内の景観への調和など、まちづくりへの寄与が期待されます。

注）鶴岡文化学術交流シビックコア地区（平成14年度設定）は、“「城下町鶴岡の中心」を維持し、人をつくり、人がたくさんいるシビックコア”をテーマに、官公庁施設と民間建築物等が連携し、地域の利便性向上を図り、魅力とにぎわいのある都市拠点形成を進める地区。

○整備コンセプト

＊周辺の低層住宅などに配慮して建物の高さを抑えるとともに、外壁面のデザインに変化を持たせ圧迫感を抑えるなど、周辺景観に調和した外観としています。（別添：写真①）

＊近隣に所在する国指定重要文化財である旧風間家住宅（きゅうかざまけじゅうたく）「丙申堂（へいしんどう）」に見られる「通り土間」をモチーフとした廊下状の土間空間をオープンスペースとして設け、その一角に市民の方々などが自由に利用できる休憩スペースや多目的トイレなどを配した「ほっとスペース」を設置して居心地のよい空間を創出しています。（別添：写真②）

＊鶴岡市民が大切にしてきた「山の眺望」に配慮して、「金峯山（きんぼうざん）」「母狩山（ほかりさん）」「月山（がっさん）」が望める２階南東に共用会議室を設置しています。また、外部の囲障には、現在も鶴岡の街並みに見られる「大和張り」による縦格子をモチーフとした板塀を設け、城下町の伝統形式や意匠を現代的に継承しています。（別添：写真③、写真④）

＊鶴岡市の防災用資機材を備蓄する防災倉庫を合築整備しており、地域の防災機能の確保に貢献することが期待されるほか、合同庁舎の駐車場（国）とその近隣駐車場（市）の相互利用など、地域連携による利便性の向上に努めています。（別添：写真⑤）

別添：整備概要

※本プロジェクトのＨＰ
http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00093/K00490/eizen/civickoa/tsuruoka.html

〈 発表記者会：東北建設専門紙記者会、山形県政記者クラブ、山形建設業界専門紙、鶴岡記者会 〉

〈 問い合わせ先 〉
国土交通省　東北地方整備局　（仙台合同庁舎Ｂ棟）
電話　０２２（２２５）２１７１（代表）
営繕部　計画課　課　長　阿部（あべ）　直人（なおと）（内線５１５１）
鶴岡市　建設部　都市計画課　　電話　０２３５（３５）１３１５（直通）

（別添）

整備概要

施　設　名：鶴岡第２地方合同庁舎

入 居 官 署：鶴岡税務署

山形地方検察庁鶴岡支部･鶴岡区検察庁

鶴岡公共職業安定所

鶴岡市（防災倉庫）

設　　計：株式会社 梓設計 東北事務所

監　　理：株式会社 アックスクリエート

施　　工：[建　築　工　事]株式会社 フジタ 東北支店

[電 気 設 備 工 事]株式会社 大三洋行 東北支社

[機 械 設 備 工 事]第一設備工業 株式会社

[ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ設備工事]日本ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ製造 株式会社 仙台営業所

工　　期：令和２年 10 月～令和４年７月

敷 地 面 積：約 3,915 ㎡

構 造 規 模：鉄筋コンクリート造　地上３階建　　延床面積 約 3,490 ㎡



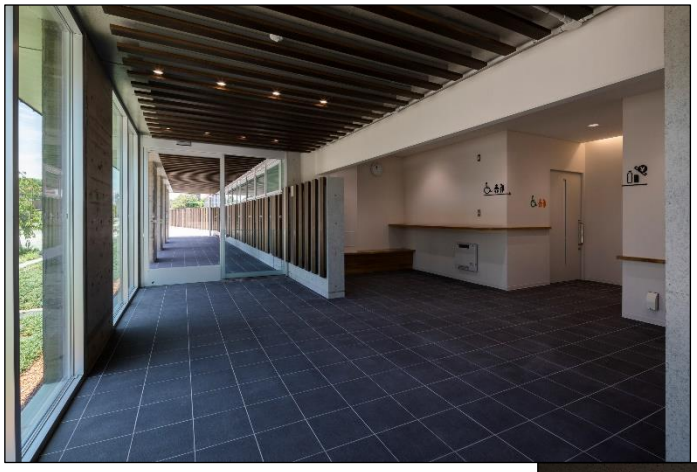
周辺図

注）アクションエリアとは、シビックコア地区の中でも都市基盤事業等を重点的に事業化するエリア



＜写真①＞庁舎南側外観

（別添）



＜写真②＞通り土間



＜写真③＞共用会議室



＜写真④＞板塀



＜写真⑤＞駐車場